

【新】次世代へつなぐ！県産牛生産強化事業のうち 県産乳牛・和牛生産強化事業

1 目 的

持続可能な酪農・肉用牛生産の実現に向け、暑熱に強い乳牛や特徴ある県産和牛の生産推進を図る。

2 事業内容

区 分	事業主体	内 容	予算額
(1) 暑熱耐性乳牛の 生産・普及	県	暑熱耐性牛の精液を配布し、暑熱ストレスによる乳量低下が少ない乳牛への改良を推進する。	4,220千円
(2) 特徴ある県産和牛の 生産促進	県	認証基準やブランディング戦略を策定し、霜降り以外のおいしさに着目した和牛の生産を推進する。	1,215千円
(3) 秩父高原牧場を本県 が推進する牛の供給 拠点として整備	県	暑熱耐性牛や霜降り以外のおいしさに着目した特徴ある県産和牛の育成に必要な牛舎の改築及び哺乳ロボットの導入を行う。	58,137千円

3 令和8年度予算額

63,572千円

令和 8年度予算見積調書

課室名：畜産安全課

担当名：畜産企画担当、畜産振興担当

内線：4193

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P33	次世代へつなぐ！県産牛生産強化事業			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費	
事業期間	令和 8年度～令和12年度	根拠法令	酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第1条及び第2条の3、埼玉県ふれあい牧場条例			針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール 2 SDGsターゲット 2-3, 2-4	
1 事業概要				5 事業説明					
暑熱に強い乳牛の生産・普及、県産和牛肉の「差別化」の促進とこれらに必要な秩父高原牧場の牛舎改築を行う。また、秩父高原牧場において、県産畜産物のPRや理解醸成のため、ふれあい体験の充実を図り、実食可能な施設・設備を導入する。				(1) 事業説明					
ア 県産乳牛・和牛生産強化事業 63,572千円				ア 県産乳牛・和牛生産強化事業 63,572千円					
イ ふれあい牧場を活用した県産畜産物のPR 28,123千円				暑熱に強い乳牛の精液配布、子牛の育成販売を行う。また、県産和牛肉の「差別化」のための基準策定、特徴ある和牛の受精卵や生体を供給する。さらに、秩父高原牧場において、これらを行うための牛舎改築を行う。					
				イ ふれあい牧場を活用した県産畜産物のPR 28,123千円					
				秩父高原牧場において、子牛とのふれあいなどの体験を充実させるとともに、牧場の景観を生かしたバーベキューコーナーを整備し、特徴ある和牛肉等の県産畜産物を提供する。					
				(2) 事業計画					
				ア 県産乳牛・和牛生産強化事業					
				令和8年度 暑熱に強い乳牛の精液配布、県産和牛肉の「差別化」のための基準策定、秩父高原牧場牛舎の改築					
				イ ふれあい牧場を活用した県産畜産物のPR					
				令和8年度 ふれあい体験の充実、バーベキューコーナーの整備					
2 事業主体及び負担区分				(3) 事業効果					
ア (県10/10)				【事業実績(アウトプット)】					
イ (県10/10)				ア 暑熱に強い乳牛の性判別精液配布 380本、実需者を含めた検討会の実施 2回					
				イ ふれあい体験等の実施、県産畜産物の飲食機会の提供					
3 地方財政措置の状況				【成果目標(アウトカム)】					
地域活性化事業債 充当率90%				ア 酪農家における暑熱に強い乳牛の生産、認証基準及びブランディング戦略の決定					
交付税措置30%				イ ふれあい体験の参加者 14,280人、県産畜産物の消費機会増加					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		財産収入	寄附金	諸収入	県債				
決定額	91,695	50	1,600	1,080	72,000			16,965	91,695
前年額	0							0	